

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

顎顔面形態を決定する要素に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年4月から2020年8月までに当院で歯科矯正診断のための検査を行った方

2. 研究目的・方法

矯正治療の方針を決定する際には顔や顎の形を考慮する必要があります。例として、顔の幅は歯列の形に影響し、治療方針を考える際に利用されることがあります。

顎や顔はいくつかの骨により構成されており、それぞれの骨の間は縫合（ほうごう）と呼ばれる部分で繋がっています。これまでの研究で顔や顎の成長に縫合での成長や気道が関わっていることが知られており、多く研究されています。しかし、その多くは横顔に関するもので、正面から見た顔に関する研究はあまりありません。そこで、検査の際に撮影して頂いたCBCT画像を用いて縫合の方向を観察、顎や顔の距離・角度などを測定し、正面みた顔の形・横顔との関連を調べることを目的とする研究を行うことにしました。

過去に昭和大学歯科病院矯正歯科を受診した、歯科矯正診断のための検査の際に三次元的な骨格評価のためのCBCT撮影を行なっている歯科矯正治療経験のない前歯の永久歯が萌出している方を対象とします。初回検査時に撮影させて頂いたCBCTデータを用い、画像解析ソフトを使用して画像上で縫合の観察および顎や顔の距離・角度の測定を行って関連を調査します。

本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反（conflict of interest）はありません。利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。

本研究は、昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門が計画し実施する自主臨床研究であり製薬会社をはじめ、他の団体からの資金的援助に基づいて行われるものではありません。

研究期間

2019年7月24日～2023年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目： ①カルテ内容（カルテ番号, 生年月日, 性別, 年齢, 診断名, 既往歴）
②CBCT（顔面の縫合の方向、距離や角度）
③レントゲン（セファログラム、パノラマX線写真、デンタルX線写真）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：歯学部歯科矯正学講座（昭和大学歯科病院） 氏名：小松 麻衣子

住所：〒145-8515 大田区北千束 2-1-1 電話番号：03-3787-1151(平日 9:00~17:00)

研究責任者：榎 宏太郎